

令和6年4月16日

新年度の始まりに（着任のご挨拶）

校長 山口 廣治

この4月に、吹田市立佐井寺中学校より校長として赴任いたしました山口廣治でございます。本校は、創立より39年。子どもたちが何事にも真摯に取り組む伝統が息づき、「未来」に向かって伸び行くそのまっすぐな姿に、西田前校長のあとを受け、改めて校長としての責任の大きさを感じつつ、更なる発展への一歩が記せますよう全力で取り組んで参ります。なにとぞ、ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、満開の桜に彩られた入学式で令和6年度は、4クラス、139名の新入生を迎え、緊張感の中にも笑顔がのぞく、明るい雰囲気でも新年度を迎え、順調なスタートを切ることができました。

現代は、生成AIに象徴されるように、ICTの革新的な進歩が社会構造そのものすら大きく変えようとしている時代。学校においても、一人一台端末の効果的な利活用はもちろん、お子さまの未来につながる教育を目指し取り組んでまいります。しかし、学校は、どの時代であっても、まずは安心して学べる場、生徒の居場所や活躍の舞台、未来に羽ばたくための「原点」となることが第一です。そのため、本校では「学び合いの場」として互いを高め合い、思いを受け止め尊重し合うことを重視いたします。双方向の「学び」が成立してこそ、学校は活性化し、生徒だけでなく、私を含め教職員が成長できる場所となることができます。「教師は教えながら多くのことを学び」、「生徒は学びながら互いに教え合い、知らず知らずに先生をも教えている」のが理想の学校のあり方だと信じています。「学び合い」には、立場を越えた「信頼」や「支え合い」が不可欠で、学校は年齢や立場を越え「未来創り」という同じ目標を持った「仲間」が集う場所だと考えます。

教職員一同、生徒たちに恥じない努力を重ね、生徒たちの可能性を引き出し、学力も人間性も大きく伸ばしていけるよう、新体制で新たな時代を見据えた教育を目指し頑張っ参ります。どうか本年もよろしくお願いいたします。

なお、令和6年度の「学校運営目標」、「本年度の重点課題」を以下の通り設定しております。学校生活の様子を毎月発行の学校だよりやホームページ等でお伝えしながら、保護者・地域の皆様との連携を深め、本校教育の充実と生徒たちの望ましい成長に向け、努力してまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。

## 1. 学校経営ビジョン（めざす学校像）

～保護者・地域の方々が「子どもの未来を託すことができる学校」を目指して～

- （1）生徒が学ぶ喜びを知り、自分のよさや可能性を実感できる学校
- （2）保護者・地域から信頼され、子どもの未来に向け、ともに歩む学校
- （3）予測困難な時代の中、子どもの未来を切り拓く教育が実現できる学校
- （4）教職員が希望と誇りを持ち、互いを尊重、協力し、高め合える学校

## 2. 学校教育目標

- （1）健康な心と体の育成
- （2）豊かな創造力と国際性
- （3）自由・自律と公共の精神

## 3. めざす子ども像（中学校ブロックとしての「めざす子ども像」）

- (1) 自らを律し、自他ともに大切にできる子
- (2) 考え、聞き、判断できる子
- (3) 自分で考え、表現し、行動していく子

## Ⅱ. 学校経営方針 (本年度の重点課題)

『急激に変化する時代の中にあっても、不変である互いの人格を尊重し、立場を超えて学び合い、子どもの未来を切り拓く教育を創造する』

### 1. 豊かな人間性をはぐくむ人権教育の推進

- (1) 人権を尊重し、他者を思いやり、共感し、寄り添うことができる生徒の育成
- (2) 相手の立場に立って考え、利他の心を持ち行動できる生徒の育成
- (3) 教職員の人権意識、人権感覚を高め、生徒の豊かな心の育成につながる深い学びを目指した実践的な研修の実施

### 2. 未来につながる「深い学び」の実現、人生を豊かにし生きることができる生徒の育成

- (1) 全教科を通じて、学ぶ意味、喜びを実感できる授業づくり
- (2) 生徒が何を学び、何ができるようになったかが明確な魅力ある授業づくり  
～『主体的・対話的で深い学び』の具現化のために～
- (3) 未知の状況にもあきらめず、学びを生かし、課題解決に向け取り組むことができる『思考力・判断力・表現力』の育成をめざした授業づくり

### 3. 地域・保護者から信頼される学校づくりの推進

- (1) 「不易」と「流行」を両軸とした時代に求められる学校・家庭・地域の連携
- (2) あらゆる機会を通じ学び続ける教職員相互の協働、資質・能力、学校力の向上
- (3) 守り育ててもらった地域に感謝し、貢献できる生徒の育成